

特集

変わりゆく動物園

幼いころ家族や遠足で訪れることの多い動物園。大人になっても、子供や孫を連れてくることで思い出を世代間継承する場にもなっている。実際に動物の姿を見ることがどこか非日常で刺激的だが、動物園はそういった『レクリエーション』だけでなく『調査・研究』『教育・環境教育』『種の保存』の役割も担っている。

従来の動物園といえば狭い檻の中に動物が展示されていて、どこかもの悲しさを感じることもあったが、近年では自然に囲まれた環境に置かれ、動物のいきいきとした姿を見ることが出来る動物園が増えている。人間と同じように、動物園で生きる動物の生活の質(QOL)の向上が求められているのだ。

これは、動物が精神的にも肉体的にも健康で環境と調和していることをさす動物福祉の考え方である。動物園での動物福祉の取り組みは広まりつつあり、給餌に工夫を凝らしたり、動物の生態に配慮した展示や健康管理のためのトレーニングなどが行われている。

このように動物園は変わりつつあるが、動物園からの働きかけのみでは実現が難しい場面もある。多くの方が動物園の取り組みに気づき、発信や寄付などのサポートをすることは追い風になるのではないだろうか。

本特集では動物園の役割や現状を整理し、変わりゆく動物園を伝える。あなたに動物園で今何が起きているのかを知って欲しい。そして動物園に足を運んで欲しい。

- ① こちらを見つめるボルネオオランウータン/村田浩一(よこはま動物園ズーラシア)
- ② 【レクリエーション】動物園を楽しむ親子/よこはま動物園ズーラシア
- ③ 【調査・研究】シマウマの血圧測定/日立市かみね動物園
- ④ 【教育・環境教育】子供たちへの環境教育/那須どうぶつ王国
- ⑤ 【種の保存】ライチョウ復活作戦/那須どうぶつ王国



1

2

3

4

5